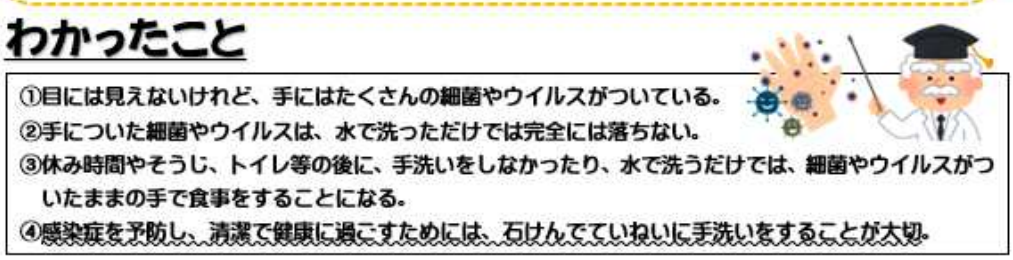
令和3年度　保健安全活動報告書　　学校名（ 由利本荘市立小友小学校 ）

活動の主体（団体の場合代表名も）	保健・給食委員会（委員長　豊＊＊＊）
活動内容	保健・給食委員会は、４年生６名、５年生５名、６年生６名の計 17 名で活動している。今年度石沢小学校と統合し、新たなメンバーを迎え、健康・安全・食などの観点から様々な活動に取り組んでいる。 コロナ禍２年目の今年も例年の活動は制限されたが、新しい活動に取り組んだり、昨年度の活動をパワーアップさせたりして、全校の健康のために活動を展開してきた。 **統合記念活動** 石沢小学校と統合し、職員の顔ぶれも変わったことから、先生方の名前と顔を覚え、早く学校に慣れてほしいという願いを込めて、「**身長の木**」を作成した。身長の木には、先生の名前、顔写真、身長が載っており、先生方のプチ・プロフィールを知ることができるほか、各学年の平均身長が示されている。先生方に身長をインタビューしたり、顔写真を撮ったりと委員会の児童も楽しみながら作成する様子が見られた。 掲示後には、「〇〇先生おっきーい！」という驚きの声が聞かれたり、実際に先生と背比べをしたりする等、コミュニケーションのきっかけにもなった。 ～身長の木で背くらべ～　　～身長の木～ **歯の健康に関する活動** 年 2 回の歯ブラシチェックを行った。児童のアイディアで、6 月は歯ブラシ型、11 月は歯型のカラフルな「**歯ブラシ交換時期のお知らせ札**」を作成し、各学級に配付した。歯ブラシの毛先が広がっている児童に札を渡し、連絡帳に貼り付けることで保護者に交換をお願いした。 ～歯ブラシ交換時期のお知らせ札～　　～各学級でのチェックの様子～

感染症予防活動

①食パンで手洗い実験

長引くコロナ禍で手洗いが習慣化しているが、手洗いの大切さについて再度確認するために、食パンを用いた「**手洗い実験**」を行った。以下は実験の様子を載せた保健だよりの一部である。



食パンを使って実験をすることで、手を洗わない場合の手の状態や石けんの効果について視覚的・体験的に知ることができた。実験に参加した児童も、そうでない児童も、いつも口にしている食パンのショッキングな姿を見て、石けんで手を洗うことの大切さについて理解したようだった。

～カビの生えた食パンを掲示～

②黙食への取り組み

飲食店等でよく使われている「黙食」というワードを使い、ランチルームでの感染予防を呼びかける「**黙食ステッカー**」を作成した。黙って食べることで、感染予防だけでなく、味覚の発達も期待されることを伝え、黙食への協力を呼びかけた。

また、給食の約束をコロナ禍バージョンに更新し、ランチルームに掲示した。

～黙食ステッカー～

～給食の約束～

熱中症予防活動

熱中症予防を呼びかける「**熱中症予防うちわ**」を作成し、プレーホールに設置した。このうちわには、児童が考えた熱中症を予防するためのアドバイスが書かれている。

また、グラウンドに続く出入り口に掲示している「熱中症予防ボード」とあわせて、暑さ指数に基づいた注意喚起のうちわを掲示した。

～暑さ指数に合わせうちわで注意喚起～

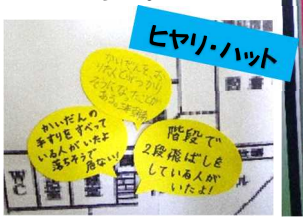
～熱中症予防うちわの内容～
- 暑いときはマスクをはずそう！
- 風通しのよい服装で来よう！
- 熱中症予報に注目！今日の危険度は…？
- 朝食をしっかりとろう！朝食をとらないとパワーがつかないよ！　等

～熱中症予防うちわ～

けがの予防に関する活動

９月９日の救急の日にちなみ、「**小友小けがマップ**」を作成し、保健室の廊下に掲示した。けがをした際に、**①どこで、②何のけがを、③体のどこに**したのかが分かるようにシールを貼る、というものである。

今年度は、委員会の児童が経験した「**ヒヤリ・ハット**」を付け加え、具体的な危険箇所について周知を行った。掲示後には、他の児童からもヒヤリ・ハットな体験が複数寄せられた。



～小友小けがマップ～

メディア利用に関する活動

GIGA スクール構想に伴い、一人一台タブレットを使った学習が増えてきたことから、タブレットをはじめ、スマホやゲーム等と上手につきあうための掲示を作成した。**ゲーム障害**や**ストレートネック**、**IT 眼症**等のメディア機器が体に及ぼす影響のほか、総務省の「**インターネットトラブル事例集（2021 年版）**」から、**①日常生活の中で気をつけたいこと、②友達や社会との関わりの中で気をつけたいこと、③ゲームで遊ぶなら気をつけたいこと**の３つをピックアップし、興味のあるカードを選んで読めるようにして掲示した。なかには難しい内容もあったが、高学年の児童を中心に興味深く読んでいる様子が見られた。

～廊下掲示の様子～

～各カードと解説～

～タブレット風に掲示～

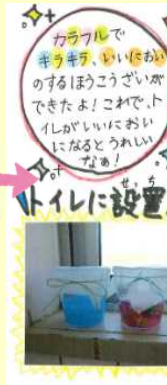
環境衛生に関する活動

11月10日のトイレの日に合わせ、「**トイレ大革命プロジェクト第2弾**」を始動した。昨年度も行ったこのプロジェクトだが、今年は第２弾として、「**みんながもっと気持ちよく、健康になれるトイレ**」を目指して、２つの活動に取り組んだ。またその内容を「**トイレ新聞**」に記載し、各学級に配付した。

①トイレのほうこうざいづくり

いらなくなった保冷剤に絵の具やスパンコール、アロマオイル等を混ぜて、繰り返し使える「**トイレのほうこうざい**」を作成した。以下は、トイレ新聞に記載したほうこうざいづくりの様子である。

～ほうこうざいづくりの様子～



【トイレ新聞 No.1】

②うん知識のポスター作り

うんちやトイレについての豆知識が書いてある「**うん知識ポスター**」。複数の文献から様々なテーマの豆知識を引用し、トイレの便座に座ったときに目に入る高さに設置した。内容は、トイレの歴史や体の不思議、人間や動物のうんちに関するもの等で、全てのトイレで内容が違うため、それぞれのトイレに入る度に違う豆知識に触れることができる。また、いくつかの豆知識はSDGｓと結びつけ、トイレの衛生やエコな生活、クリーンエネルギーについて考える機会とし、トイレ新聞でも取り上げた。

～参考文献～

～うん知識ポスター～

～うん知識の内容～
- トイレの様々な呼び方
- 人間の１日のうんちの重さは？
- うんちの色って何色？
- トイレットペーパーの歴史
- 冬にトイレが近くなるわけ
- トイレットペーパー使用量ランキング　等

【トイレ新聞 No.２より】

記入者 職・氏名	養護教諭　遠＊＊＊